

イベント参加
登録締切
2026年1月20日

参加費
無料

研究基盤EXPO 2026



WEBサイトはこちら！

共創する研究基盤：革新と連携が拓く新たなステージ
～コアファシリティを連ね、ひろがる未来へ～

会期

2026年1月27日(火)～2026年2月2日(月)



プログラム

1月27日(火) 9:30 オープニング

9:50-17:15 第5回研究基盤協議会シンポジウム

(主催 筑波大学 / 会場 つくば市,ハイブリッド(現地 + オンライン))

1月28日(水) 9:00-12:30 研究基盤協議会「共創の場」シンポジウム

(主催 研究基盤協議会 / 会場 つくば市,ハイブリッド(現地 + オンライン))

14:00-17:00 知の創造を支える人財とは何か？～AI for Scienceと研究基盤に焦点を当てて～

(主催 日本学術会議若手アカデミー, 研究基盤協議会 / 会場 つくば市,ハイブリッド(現地 + オンライン))

1月29日(木) 10:00-12:30 シンポジウム「私立大学の戦略的コアファシリティ2026」

(主催 東海大学、早稲田大学 / 会場 オンライン)

14:00-15:30 産総研グループ・研究基盤協議会 連携協定記念シンポジウム

(主催 産業技術総合研究所、AIST Solutions、研究基盤協議会 / 会場 つくば市,ハイブリッド(現地 + オンライン))

1月30日(金) 10:00-12:00 SXプラットフォームシンポジウム～“借りる”からはじめる新たな研究基盤強化の構築～

(主催 岡山大学 / 会場 オンライン)

13:30-17:00 東京科学大学TCカレッジシンポジウム

(主催 東京科学大学 / 会場 東京都,オンライン)

2月 2日(月) 9:30-12:30 令和7年度 先端研究基盤共用促進事業シンポジウム

(主催 文部科学省 / 会場 オンライン)

14:00-16:00 JAIMA-CORE共催シンポジウム2025「AI・ロボット駆動型ラボシステム構築への挑戦」

(主催 JAIMA、研究基盤協議会 / 会場 オンライン)

16:00 クロージング

主催 一般社団法人研究基盤協議会 (CORE)

協力 株式会社島津製作所、日本電子株式会社、株式会社日立ハイテク

後援 一般社団法人日本分析機器工業会 (JAIMA)

【お問い合わせ】

研究基盤EXPO2026実行委員会
expo2026@jcore2023.jp

2026年

1月27日 9:30 オープニング

(火)

- 開会挨拶
- 挨拶

江端 新吾 (一般社団法人研究基盤協議会 理事・会長)
西條 正明 (文部科学省科学技術・学術政策局長)

会場：筑波大学

ハイブリッド

9:50-17:15

第5回研究基盤協議会シンポジウム

第1部 研究基盤協議会 活動報告

第2部 研究基盤の共創による好循環を探る

第一部の研究基盤協議会報告に続き、第二部では「地域・産学官の連携による研究基盤強化」に焦点を当て、取組み事例を紹介とともに、大学・研究所・企業等、分野を超えた共創プラットフォームの知見や情報から現在の課題を共有し、「研究基盤の共創による好循環」に向けた未来構想を議論します。

(主催:筑波大学)

会場：筑波大学

ハイブリッド

1月28日 9:00-12:30

(水) 研究基盤協議会「共創の場」シンポジウム

会場：筑波大学

ハイブリッド

第1部 「支援」から「共創」へ—研究を創り出す“ものづくりの力”

技術職員コンソーシアムでは、「研究を支える存在から、研究を共創する存在へ」というビジョンを掲げ、工作系技術者が担う“ものづくりの力”とその可能性を示します。それは、研究者と技術者、企業の装置開発者が一堂に会し、研究基盤の未来をともに描く姿であり、目指すのは「新しい研究基盤を生み出す力」です。

(主催:研究基盤協議会)

第2部 若手ネットワーク企画「現場力を解き放つ—制約を超える対話と連携」

研究支援人材が自ら動き、現場から変革していくことの重要性が増す一方で、自律的な動きを制約してしまう組織も多数存在している。今回、自由な裁量の下で高度な研究支援を行なう先進事例を持つ人々との議論を通じて、現場人材の主体的な活動を制約する要因や解決策になりうる横の繋がりの重要性について議論する。

(主催:研究基盤協議会)

14:00-17:00

知の創造を支える人財とは何か？～AI for Scienceと研究基盤に焦点を当てて～

会場：筑波大学

オンライン

近年、我が国の学術を支える多様な研究人材（人財）の確保が困難となる中、AIや先端研究施設などの分野で専門人材の需要が急増している。本シンポジウムでは、こうした人材に求められる資質や育成のあり方について、アカデミア・実務・政策の立場から議論を行い、次世代の研究人材育成に向けた具体的な提言を目指す。

(主催:日本学術会議若手アカデミー、研究基盤協議会)

1月29日 10:00-12:30

(木) 私立大学の戦略的コアファシリティ2026

オンライン

我が国のグローバル産業界を担う人材育成において、理系学部学生の約6割を抱える私立大学は中核的な役割を果たしている。今後不足するデータ活用スキルに優るDX人材輩出を視野に、研究と教育をつなぎ、技術職員・研究者・企業との協働による、新たな私立大学コアファシリティモデルの方向性を探る。

(主催:東海大学、早稲田大学)

14:00-15:30

産総研グループ・研究基盤協議会 連携協定記念シンポジウム

会場：産総研 (つくば)

オンライン

産業技術総合研究所とAIST Solutionsは、設備共用化を本格的に推進するため、研究基盤協議会と連携協定を締結しました。本シンポジウムでは、産総研グループと全国の大学との連携や、設備共用化の先にある将来像について議論します。あわせて、政府および企業の視点を踏まえた多角的な意見交換を行います。

(主催:産業技術総合研究所、AIST Solutions、研究基盤協議会)

1月30日 10:00-12:00

(金) SXプラットフォームシンポジウム ～“借りる”からはじめる新たな研究基盤強化の構築～

オンライン

研究機器の購入や維持・更新には高いコストが必要であるため、多くの大学・研究機関が研究を推進する上で大きな課題となっています。「借りる」のより良い手段を提供するSX（シェアド・トランザクション）プラットフォーム。本取組が及ぼす研究環境・研究基盤強化、そして教職員の意識・行動変容等を議論します。

(主催:岡山大学)

13:30-17:00

東京科学大学TCカレッジシンポジウム

会場：東京科学大学

オンライン

文部科学省委託事業「コアファシリティ構築支援プログラム」にて立ち上げた高度技術人財養成の場「TCカレッジ」は、2025年10月に組織改革を行いオールジャパンおよびグローバルなネットワークを構築する新生TCカレッジとして生まれ変わりました。教育研究に関わる技術者が持つ力を最大化する、TCカレッジの魅力・今後の展開などをご紹介します。（主催:東京科学大学）

2月 2日 9:30-12:30

(月) 令和7年度 先端研究基盤共用促進事業シンポジウム

オンライン

最終年度を迎え、「コアファシリティ構築支援プログラム」令和3年度採択機関から、過去5年間の取組や課題について集大成としての報告を行うとともに、来年度から始まる次期科学技術・イノベーション基本計画を見据え、先端研究基盤刷新事業(EPOCH)の狙いなど、最新の政策動向や今後の方向性について議論します。

(主催:文部科学省)

14:00-16:00

JAIMA-CORE共催シンポジウム2025 「AI・ロボット駆動型ラボシステム構築への挑戦」

オンライン

AIとロボットの技術革新により、これまで人手に依存してきた研究開発プロセスをAIと実験ロボットで刷新する動きが加速している。これを実現するには、研究開発という不定形業務に適したラボシステムの構築が不可欠となる。本シンポジウムでは、先進事例の紹介と構築ポイントについて議論する。

(共催:JAIMA、研究基盤協議会)

16:00 クロージング

オンライン

- EXPO2026振り返り 岡 征子 (一般社団法人研究基盤協議会 理事・副会長)
- 総括 馬場 大輔 (文部科学省科学技術・学術政策局参事官)
- 閉会挨拶 植草 茂樹 (一般社団法人研究基盤協議会 理事・副会長)

主催

協力

後援

Ver2025.11.28